

2021年8月12日

各 位

会 社 名 株式会社 J Pホールディングス 代表者名 代表取締役社長 坂 井 徹 (コード番号:2749 東証第一部) 問合せ先 広報 IR 部 部長 都 志 謙 治 (TEL 052-933-5419)

表示方法の変更に伴う業績予想の修正(売上高および営業利益の上方修正)および 2022 年 3 月期第 1 四半期決算の賞与引当金等の計上による前期差異要因について

当社は、2021年5月13日に公表しました2022年3月期の連結業績予想を表示方法の変更に伴い下記のとおり修正いたしました。また、当第1四半期連結累計期間において賞与引当金等の特殊要因費用の計上により前期との差異が発生しておりますので下記のとおり、お知らせいたします。

記

## 1. 業績予想の修正について

## (1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	33, 200	1,800	2, 300	1, 450	16. 58
今回修正予想(B)	33, 700	2, 300	2, 300	1, 450	16. 58
増減額 (B-A)	500	500	_	_	_
増減率(%)	1.5	27.8	_	_	_
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)※	33, 500	2, 857	2, 947	537	6. 15

<sup>※</sup>前期実績(2021年3月期)は、表示方法の変更を反映しております。

## (2) 連結業績予想の修正理由について

通期連結業績予想については、保育士の借上社宅に対する補助金収入等について、従来、 その金額を「補助金収入」として、営業外収益に計上しておりましたが、当第1四半期連結 累計期間より、当該補助金等を「売上高」に計上する表示方法の変更をおこなっております。

これに伴い、2021年5月13日に公表しました「2022年3月期の連結業績予想」と比較して、売上高500百万円および営業利益が同額増額しております。

## 2.2022年3月期 第1四半期実績と前期との差異要因について

当第1四半期連結累計期間において、売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、2021年4月25日から6月20日まで「緊急事態宣言」が発令されましたが、各園・施設において休園・休室・休館には至らず、新規施設の開設、既存施設での受入児童の増加等により、売上高8,371百万円(前年同期比4.6%増)と、増収となりました。

営業利益におきましては、新規施設の開設等による売上高の増加はあるものの、新人事制度の導入に伴う賞与支給期間の変更により賞与引当金の増額ならびにシステム導入に伴う特殊要因費用として 400 百万を計上したことにより、営業利益 178 百万円(前年同期比 32.2%減)と、減益となりました。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、上記の特殊要因による費用増加の影響から経常利益 186 百万円(前年同期比 30.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 105 百万円(前年同期比 40.4%減)と、減益となりました。

なお、期初で計画しております 2022 年 3 月期の業績予想につきましては、計画どおりに推移しております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上